

2020.10.01 福岡37会 ①佐賀県基山町・基山（きざん）404M登山。

②福岡県太宰府市・水城館、坂本八幡宮、大宰府政庁跡、大宰府展示館

③福岡市・博多駅屋上④反省会・楽蔵博多筑紫口店



2020/10/01 10:00  
基山 基城跡



2020/10/01 11:40



13:27 坂本八幡宮



ノダケ  
(土当帰、野竹)  
セリ科



四王寺山(しおうじやま)410m

13:36  
大宰府政庁跡



13:46  
大宰府展示館  
梅花の宴

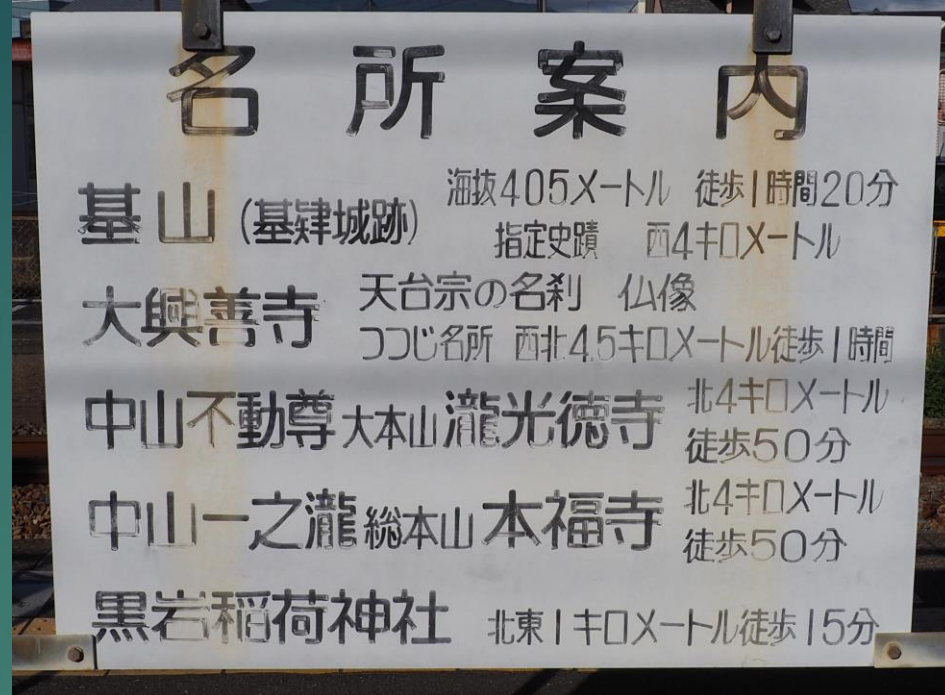


17:34 博多駅屋上からの日没



サクラタデ(桜蓼)  
タデ科

JR基山駅  
前に集合



2020/10/01 9:01 基山駅前



橘の花散る里のほととぎす

かたこひ  
片恋しつづ 鳴く日しぞ多き

### 大伴旅人

(万葉集巻第八)

この歌は、大伴旅人が妻を亡くした時に、天皇の命で弔問に訪れた勅使石上朝臣堅魚とともに記夷いそのかみのあそみかづをの城(基肆城)に登り、望遊した日に亡き妻を思い歌ったものです。

大伴旅人は、奈良時代初期七百二十七年に大宰府の長官として赴任し、山上憶良等とともに「梅花の宴」を催す等多く歌を作りました。また、万葉集の選者であった大伴家持の父でもありました。

また、この「花散る里」という表現は、この後「源氏物語」等色々な文学作品に用いられるようになります。

橘の白い花の香りをお楽しみください。

基山町観光協会

0942-92-2188

基山  
(きざん)  
404m登山

草スキー場  
から



9-24  
基山草スキー場を出発



2020/10/01 10:25



2020/10/01 9:28  
基山(きざん)草スキー場



2020/10/01 9:38



九千部山（くせんぶさん）848m

2020/10/01 9:40  
九千部山（くせんぶさん）848m



天智天皇欽迎之碑

山頂まで  
30分

2020/10/01 9:48  
基山（きざん）404m山頂の祠



2020/10/01 9:39  
瀧光徳寺（りゅうこうとくじ）の  
五重塔



キツネノマゴ  
(狐の孫)  
キツネノマゴ科



ノダケ  
(土当归、野竹)  
セリ科

大根地山（おおねちやま）652m



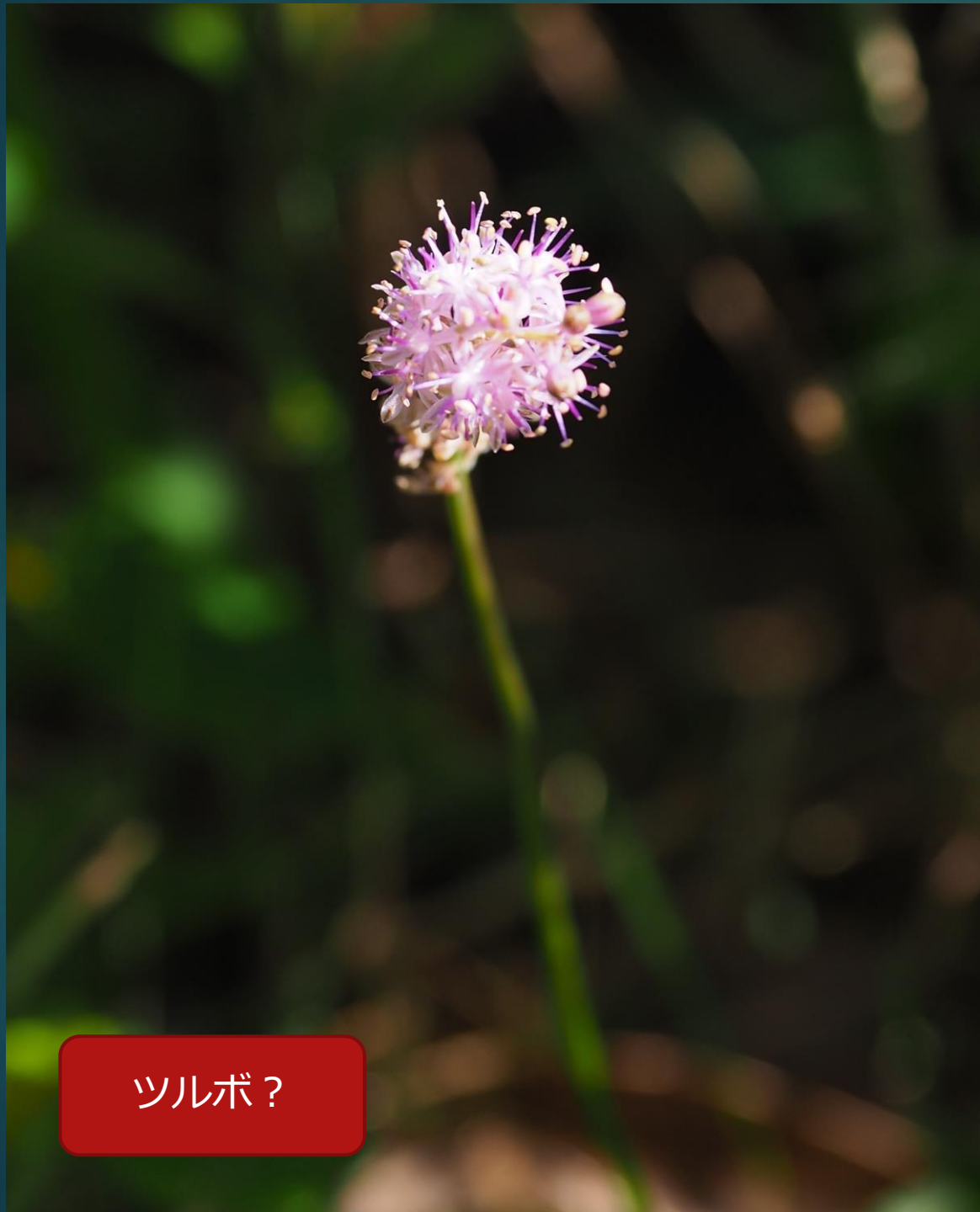
砥上岳（とがみだけ）496m



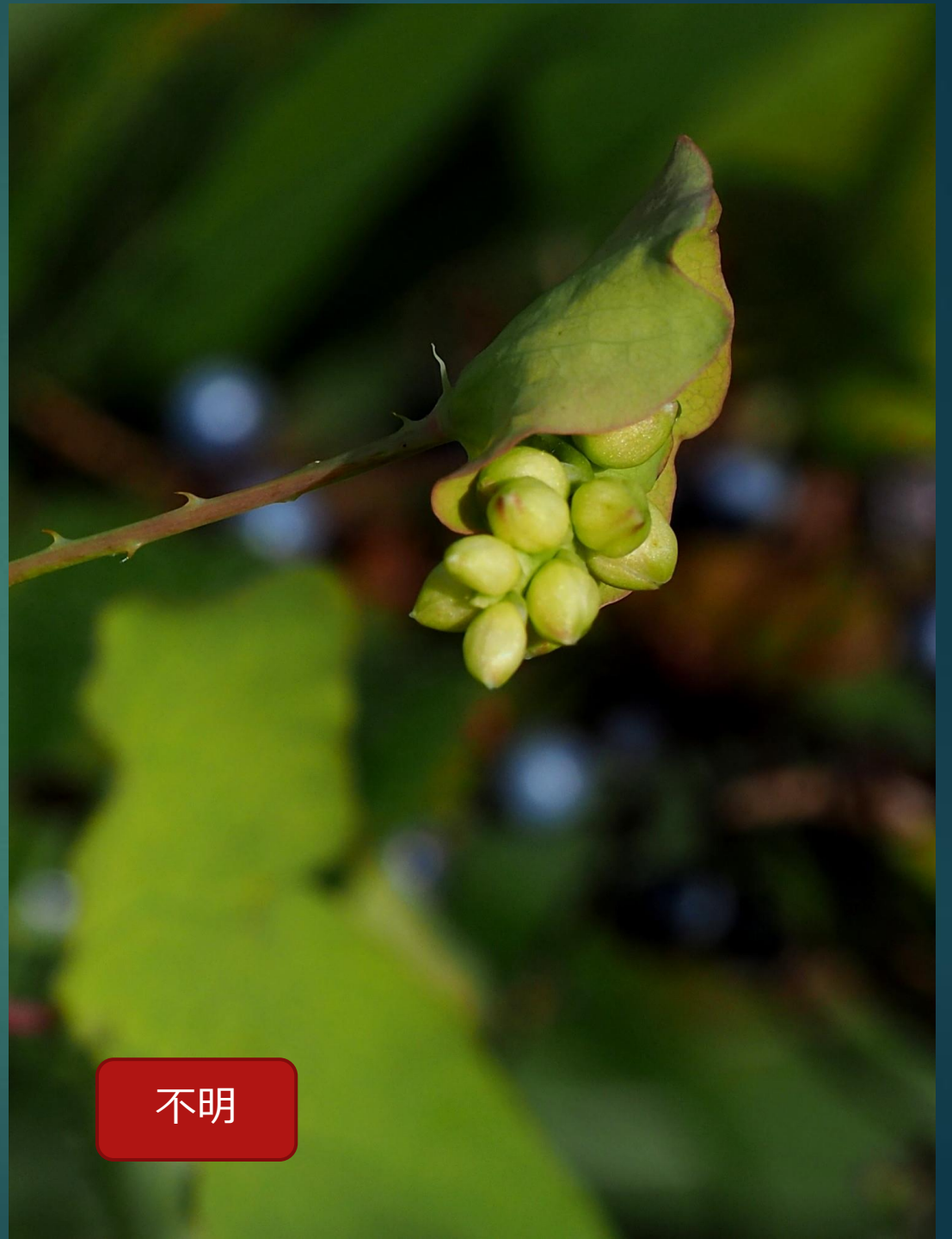
宮地岳  
(みやじだけ)339m

2020/10/01 9:49





ツルボ？



不明



キアゲハ（黄揚羽）  
アゲハチョウ科



2020/10/01 10:00  
基肄城（きい城）跡



立花山（たちばなやま）367m

2020/10/01 10:06



2020/10/01 10:06  
福岡市内方面





ツルメドハギ (蔓目処萩) マメ科  
ネコハギとメドハギの雑種



オキナグサ

オキナグサ (翁草)  
キンポウゲ科



天山山頂

2020/10/01 10:22



2020/10/01 10:23  
草スキー場を下る



2020/10/01 10:24



九千部山（くせんぶさん）848m

2020/10/01 9:33  
九千部山（くせんぶさん）848m



背振山（せぶりさん）1055m

2020/10/01 10:26



2020/10/01 10:29



2020/10/01 10:36 1時間20分の行動時間

# 水城館



2020/10/01 11:31  
水城館駐車場

水城館ご利用のみなさまへ

開錠時間 9時00分

施錠時間 16時30分

※休館日 月曜日

(月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌日)

太宰府市教育委員会文化財課



水城館駐車場 トイレ

2020/10/01 11:32

11:34

水城大堤之碑

水城東門跡周辺の案内図  
(Guide map, 示意图, 안내도)



- |  |   |      |
|--|---|------|
| 水城館 (トイレ・休憩所・ガイダンス)<br>Toilet・Guidance、廁所・簡介、화장실・안내소   | ➡ | 10m  |
| 水城跡展望台 Observatory、展望台、전망대   | ⬆ | 100m |
| 古代官道跡 Ruins of the Ancient Government Road<br>古代官道遺址、고대 관도 유적                                  | ➡ | 50m  |
| 水城跡第2広場 (トイレ)<br>Ruins of Mizuki's Second Plaza (Toilet)<br>水城遺址第二広場 (廁所)<br>미즈키 유적 제2광장 (화장실) | ⬅ | 90m  |
| 水城跡土塁<br>Ruins of Mizuki's Mounds<br>水城遺址土垒 (城牆)<br>미즈키 (성) 유적 토벽 (제방)                         | ⬇ | 30m  |
| 木樋取水口跡<br>Ruins of Wooden Water Intake Pipe<br>木樋取水口遺址<br>목재 취수구 유적                            | ⬇ | 100m |

みずきたいのひ  
水城大堤之碑

この碑は、大正4(1915)年、大正天皇即位の記念事業として、水城青年会が建てたものです。

碑文は、水城村在住の郷土史家・武谷水城が書き、碑の背面には、水城跡の由来と水城村出身の技師・竹森善太郎が行った水城跡の実測結果が刻まれています。台石は宝満山から、掉石は博多から水城青年会が自ら運搬したものです。

【碑文の訳】

「天智天皇3(664)年 筑紫に大堤を築き水を貯え名づけて水城という。今をへだてること1252年。称徳天皇の天平神護元年3月、大宰少貳 従五位下 采女朝臣浄庭を修理水城専知官とす。今をへだてること1151年。今、東堤長さ176間3尺(約320m)、西堤384間3尺(約700m)、総長561間(約1020m)、最高所5間5尺(10.6m)、基盤の最広所19間1尺7寸(約35m)、中央欠堤所96間(約175m)。西堤は近年中断し、二堤となる。この所はすなわち東方関門の跡で片側の礎石が遺存している。その西方関門はすなわち吉松堡道の地なり。」

Mizuki Embankment Monument

This stone monument was built by the Mizuki Youth Association in 1915, and the origins and survey results of the Mizuki ruins are inscribed on it.

水城大堤碑

1915年水城青年会立下此碑。石碑上記載着水城遺址の由来以及測量成果。

미즈키 (성) 대체비 (水城大堤碑)

이 비석은 1915년에 미즈키 청년회에 의하여 세워진 것으로 미즈키 (성) 유적의 유래와 측량성과에 대한 내용이 새겨져 있습니다.

平成28年12月 太宰府市教育委員会

2020/10/01 11:33



みず き たい てい の ひ

# 水城大堤之碑

この碑は、大正4(1915)年、大正天皇即位の記念事業として、水城青年会が建てたものです。

碑文は、水城村在住の郷土史家・武谷水城が書き、碑の背面には、水城跡の由来と水城村出身の技師・竹森善太郎が行った水城跡の実測結果が刻まれています。台石は宝満山から、掉石は博多から水城青年会が自ら運搬したものです。

## 【碑文の訳】

「天智天皇3(664)年 筑紫に大堤を築き水を貯え名づけて水城という。今をへだてること1252年。称徳天皇の天平神護元年3月、大宰少貳 従五位下 采女朝臣浄庭を修理水城専知官とす。今をへだてること1151年。今、東堤長さ176間3尺(約320m)、西堤384間3尺(約700m)、総長561間(約1020m)、最高所5間5尺(10.6m)、基盤の最広所19間1尺7寸(約35m)、中央欠堤所96間(約175m)。西堤は近年中断し、二堤となる。この所はすなわち東方関門の跡で片側の礎石が遺存している。その西方関門はすなわち吉松墜道の地なり。」



11:36



11:37:



11:38

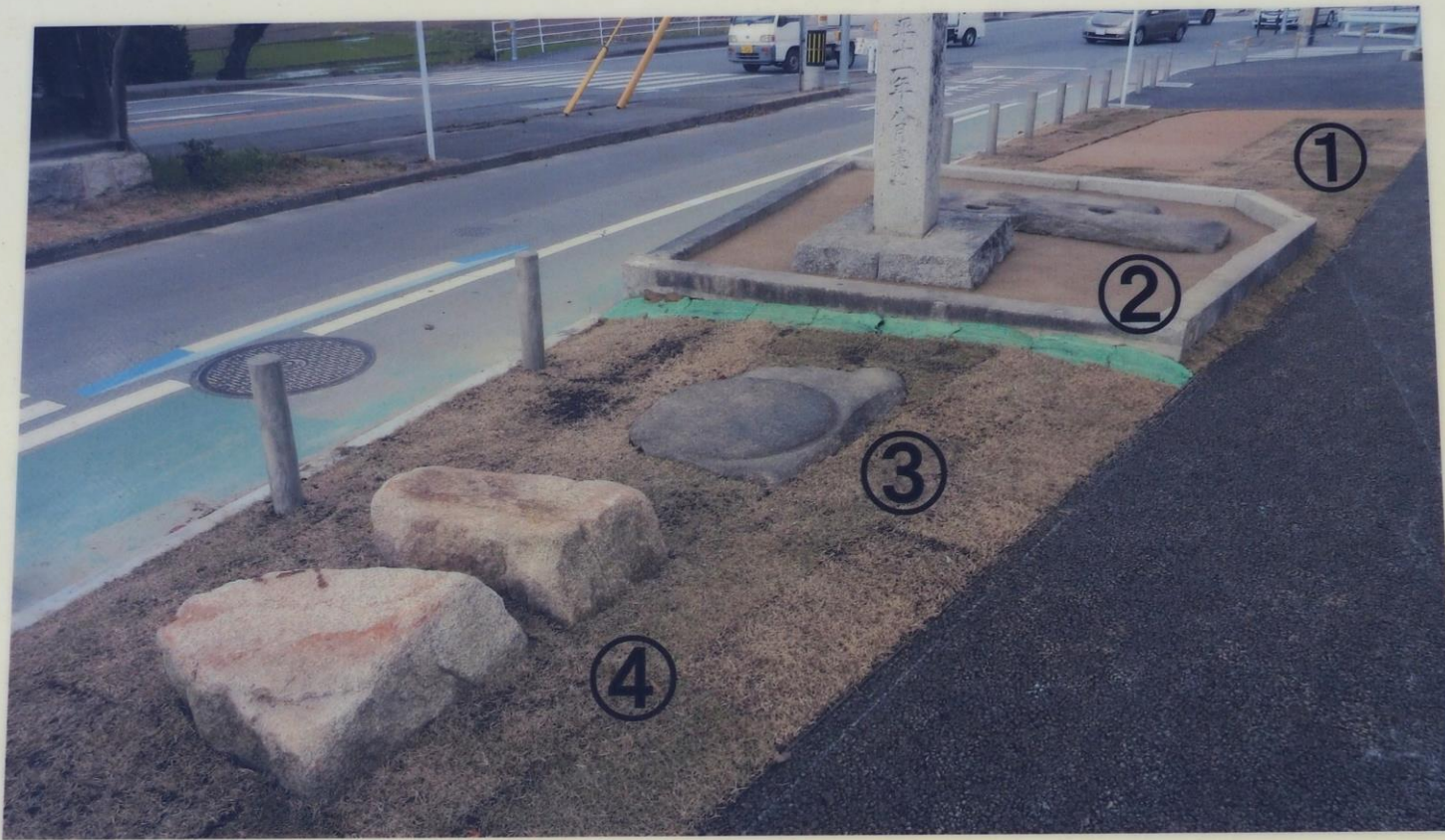


# 水城東門跡

水城の東西端には門が設けられました。ここはその東門跡で、都から大宰府への玄関口でした。大宰府に赴任する官人たちは、水城の門で出迎えを受け、また送り出されました。実際、寛弘2(1005)年に大宰大貳として赴任した藤原高遠は、水城で大宰府の印と鍵を受けとり、また、天平2(730)年に大宰帥大伴旅人が帰京した時は、水城で役人たちに見送られています。

東門は、藤原高遠の和歌に「岩垣の水城の関」と詠われていることから、門の両側には石垣が築かれていたと考えられます。その後、寿永2(1183)年までは、門が存在したようですが(『平家物語』巻第8)、元寇のことを記した『八幡愚童訓』には、礎石があるのみと記され、13世紀後半には、門は無くなっていたことがわかります。その後もここは交通の要衝であったことから、大きく改変され、江戸時代には街道脇に礎石が1個残るのみとなっていました。

平成26(2014)年に一部発掘調査を行いました。攪乱されており、門の遺構は残っていませんでした。しかし、門外の脇に造られたと推測されるL字形に曲がる溝が確認されたことや土塁との位置関係などから、門は礎石があるこの付近にあったと推測されます。



- ①は、発掘調査で見つかったL字形の溝の位置です。
- ②は、江戸時代から知られている礎石です。
- ③は、昭和43年、上水道工事で横の市道から発見された礎石で、円形の柱座はしらざが造り出されています。
- ④は、平成26年の調査で門跡周辺から見つかった石で、東門の石垣に使われた可能性も考えられます。



江戸時代後期頃の東門礎石

(『筑前名所図会』巻四 福岡市博物館所蔵)

江戸時代から『筑前国続風土記』などの地誌ちくぜんのかくにぞくふどきにこの礎石のことが記され、『筑前名所図会』には挿図と共に「東の方大路かたむらの傍に、門の礎一つ残れり、是を俗に鬼の硯石おにのすずりいしといふ」と記されています。



礎石と門の構造復元図

礎石上面にある2つの円形の穴は、門柱を据える穴と門扉の軸受けです。方形の穴は扉と門柱との隙間をふさぐ方立を据えます。

発掘調査で、礎石は江戸時代末頃の層の上のっていることがわかり、官道の位置に対し、礎石の向きも異なっていたことなどから、古代の位置を保っていないことがわかりました。そこで、平成28年の整備では、礎石の向きだけ本来の向きに据え直されました。



2020/10/01 11:40



11:56 水城館



ヨメナ (嫁菜) キク科

## 四王寺山(しおうじやま)410m

水城

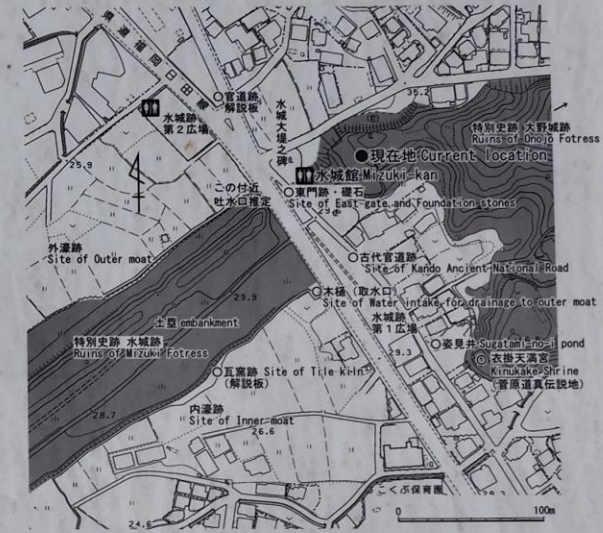
12:01  
展望台から



# 丘からみた 水城跡

所在地 太宰府市国分2丁目ほか  
 指定日 大正10年(1921年)3月3日 史跡指定  
 昭和28年(1953年)3月31日 特別史跡指定

水城は、663年の白村江の戦いで日本が敗北した翌664年に築造され、のちに大宰府を守った古代の防衛施設です。博多湾・福岡平野からの進入をふせぐよう、こちらの丘陵と正面の丘陵との間の約1.2kmにわたって、高さ約10mの人工の土塁を築きました。かつてはこの内外に濠があり、このため「水城」と名づけられたと歴史書『日本書紀』に記されています。濠は鎌倉時代(13世紀)には埋まっていたようですが、土塁は今もかつての姿をとどめています。土塁は、砂と粘土を交互に敷きつつ、棒で突き固めて造られました。これを版築工法といいます。中国文明を築いた土木技術で、朝鮮半島に伝わったのち、日本に伝えられました。土塁は大きく2段に分かれており、下成土塁(幅77mの平坦な土塁)の上に、上成土塁(高さ5~7mの台形状の土塁)を外側(向かって右側)に寄せて築いています。また壊れにくくするため、土塁の下には樹木の枝葉を敷いています。これは敷粗朶工法といいます。版築も敷粗朶も、百濟(古代朝鮮三国の一つ)の都を囲む城壁(扶余羅城)と同じ工法と判明し、注目されています。土塁の向かって右側には幅約60mの外濠が、左側には内濠が設けられていたとみられます。また眼下の道路に沿って、奈良時代(710-794)・平安時代(794-1185)には都と大宰府を結ぶ官道があり、土塁の位置に水城の東門がありました。なお、この先(西側)にも水城(小水城)が設けられています。それを合わせると全体は6kmほどにもなります。



## 水城の景観をまもる

水城は、今も変わらず交通の要衝で、鉄道・国道・高速道路(九州自動車道)が横切っています。高速道路の計画の際、景観の問題が議論され、トンネル工法や迂回させる方法などの代替案が検討されました。

安全上の問題や、多額な費用がかかるなどから、ほぼ当初の計画どおりとなりましたが、景観に配慮し、水城跡の頂部よりも低く、高架の高さを下げることになったのです。このため水城の土塁付近は、高速道路は低く横切っています。



水城跡： 水城は西暦664年に築かれ、大宰府の北西を守った要塞です。周辺の地形をつなぐように築かれた水城によって、外からの侵入をふせぎました。  
 Ruins of MIZUKI fortress： Mizuki was a fortress built in the year 664 to protect the northwest of Dazaifu. This structure combined with geographic features around the area prevented entry from outside.  
 水城遗址： 水城是保卫大宰府西北方的城池，始建于664年。本意是通过与周边的地形构成一个整体，以抵御外敌的入侵。  
 미즈키(성) 유적： 미즈키(水城)는 다자이후의 북서쪽을 지키는 성채로 664년에 축성되었습니다. 이것이 주변 지형과 일체화되어 외부의 침입을 막았습니다.





水城

12:02



# 坂本八幡宮



13:23 坂本八幡宮駐車場



13:24



13:24 坂本八幡宮



2020/10/01 13:25



わが園に  
 鹿来鳴く  
 初秋の夜帰る  
 に来鳴く  
 鹿  
 大正十一年  
 大塚

13:26

わが岡に さ男鹿来鳴く

初萩の 花婿問ひに 来鳴くさ男鹿

大宰帥 大伴旅人

原文 吾岳尔 棹壯鹿來鳴 先芽之 花婿問尔 來鳴棹壯鹿

万葉集卷八 一五四一

大意 私の住む岡に牡鹿が来て鳴いている。今年初めての萩の花が咲き、牡鹿がやってきて妻問いをしていることよ。

この辺りは、大宰帥大伴旅人の邸跡と伝えられている。旅人邸は、「万葉集の華」ともいうべき梅花の宴が開かれた場所としてよく知られているが、赴任後間もなく妻を亡くした旅人の暮らしは心淋しいものであった。

萩の花が咲き初める初秋、牡鹿が牝鹿を求めて鳴く求婚の甲高い声にも、妻を想う自分の心を重ねずにはおられないのであった。

この歌碑・解説板は「歴史と文化の環境税」で作成しています。



13:27 坂本八幡宮

## 坂本八幡宮縁起

この坂本八幡宮は土地神・産土神として崇拜されている神社で、  
応神天皇を御祭神としています。

「圓満山四王寺縁起」によれば「嵯峨天皇弘仁二年（八一）  
辛卯二月勅宣にて四王院に釈迦仁の像を造立し有智山寺の沙門鳳  
詮法師及行願具足の僧十一輩を移し開眼供養を遂げられ水田五十  
町を寄付し給ふ。鳳詮法師は坂本に住して善正寺と号す。又坂本  
坊と呼り。」とされ、平安時代にはこの坂本の地に四王寺の座主  
坊としての善正寺が成立していたとされています。

坂本にあったこの寺は中世は天台宗の寺院で、本山の比叡山に習  
い九州の天台系寺院には境内に八幡宮を祭る形が多く見られます。  
当社の勧請時期は「福岡県神社誌」（一九四四年刊）の記述に  
よれば「天文・弘治の頃」（一五三二～一五五七）の戦国時代と  
されていますが、おそらくこの頃に寺院が廃れ土地を経営する現  
在の坂本区の原型となる村落ができ、その村の鎮守として寺の境  
内にあった社が再興されたものと考えられます。

境内入り口南側にある「がらんさま」と呼ばれる立石は天台寺  
院の故地によく見かけられ、寺の中心地や結界となる境に置かれ  
る事があるようです。

この場所が大字の境で「辻」という小字であることも、当社の鎮  
守としての性格を現しています。

古代には大宰府や九州を守護する寺であった四王寺が形を変え  
ながら、現在では坂本区の鎮守として生き続けています。



13:29



ヤブラン (薺蘭)  
キジカケシ科



13:30  
坂本八幡宮



四王寺山(しおうじやま)410m

13:36  
大宰府政庁跡





13:37  
大宰府展示館



13:38 大宰府展示館



# 万葉集筑紫歌壇

まんようしゅうつくしかだん  
Man'yoshu poet group  
in Ancient Kyushu



# 太宰府の梅

だざいふのうめ  
Dazaifu Plum Blossomes

JAPAN HERITAGE

## 日本遺産

太宰府市の日本遺産  
古代日本の『西の都』  
～東アジアとの交流拠点～



日本語



For tourist

<http://www.dazaifu-japan-heritage.jp/>  
This page supports Japanese, English, Chinese and Korean.

筑紫歌壇は、太宰府に滞在し万葉集に歌を残した著名な歌人集団をいう。筑紫で詠まれた万葉歌は約 320 首あり、天平二年（730）正月に大宰帥（長官）・大伴旅人邸で開かれた「梅花宴」が有名である。

梅は大陸から渡ってきた先進の文物の一つで、菅原道真もこよなく愛した。現在太宰府は、梅の名所として知られる。

平成31年 太宰府市  
この看板の製作には「歴史と文化の環境税」を活用しています

小野老

あをによし寧楽の京師は  
咲く花の薫ふがごとく  
今さかりなり

あをによし 寧楽の京師は

咲く花の 薫ふがごとく

今さかりなり

をののおゆ  
小野老

原文  
青丹吉 寧楽乃京師者 咲花乃 薫如 今盛有

万葉集卷三―三二八

大意 奈良の都はにおうように花が美しく咲き、今まつ盛りである。

大宰少弐小野老朝臣が天平元年（729）大宰府に着任した時、宴席で披露した歌とされている。揮毫者の犬養孝氏は万葉風土の大切さを訴え、若い頃から幾十度となく大宰府政庁跡の巨大な礎石の前にたたずんでは、古代の絵巻を繰り広げてくれる「遠の朝廷」を偲び、都から離れた官人の心情を思いやられた。碑文は昭和二十四年に作られた「萬葉百首」のかるたから拡大して刻した。

この歌碑は、  
文上の書境税で制作して、

13:38

## 新元号「令和」について



古代九州を統括した地方最大の役所・大宰府の政庁跡の風景

平成31年4月1日、日本政府は新たな元号を「令和（れいわ）」と決定しました。天皇陛下即位に合わせ5月1日から使用される「令和」は、645年の「大化」から数えて248番目の元号となります。

「令和」の典拠は、1200年余りに編纂された日本最古の歌集『万葉集』に収められた「梅花の歌三十二首 序文」にある、

初春の令月にして（しよしゅんの れいげつにして）、

気淑く風和ぎ（きよく かぜやわらぎ）、

梅は鏡前の粉を披き（うめは きょうぜんのかをひらき）、

蘭は珮後の香を薫ず（らんは はいごのこうをくんず）。

この文言を引用したもので、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められた元号となっています。

## 大宰府と 新元号「令和」

かつてこの地には、7世紀後半から12世紀前半にかけて地方最大の役所「大宰府」が置かれ、西海道（九州一帯）の統治、対外交流の窓口、軍事防衛の拠点という重要な役割を担っていました。大宰府の長官は大宰帥（ださいのそち）と呼ばれ、大伴旅人は727年ごろ大宰府へ赴任しました。



大伴旅人は政治家としてだけでなく、歌人としても才を発揮した人物で、赴任した大宰府においても文人たちと交わり、山上憶良（やまのうえのおくら）らと共に優れた歌を残しました。後に「筑紫万葉歌壇」と呼ばれる華やかな万葉文化が、大宰府の地に花開いたのです。

天平2年（730年）正月13日、大伴旅人は自身の邸宅に大宰府や九州諸国の役人らを招いて宴を開催しました。当時、中国から渡来した大変高貴な花であった梅をテーマに歌を詠んだことから「梅花の宴」と呼ばれています。今回、元号「令和」の典拠となった文言は、この「梅花の宴」で詠まれた32首の歌の序文になります。



制作：博多人形師・山村延輝氏



本最古の歌集といわれ、約4500首の  
め、貴族など上流階級の人々だけでなく、  
階級の人々が詠んだ歌が収められており、  
る歌集です。  
の宴を開催した大伴旅人の息子・大伴家  
います。宴で詠まれた歌をはじめ、九州にま  
り、家持が少年時代を過ごした大宰府の風  
及っていたのかもしれない。

について  
家・王羲之（おうぎし）が353年に開催した「蘭亭



### おののお野 小野老 (? ~ 737)

小野老は、大宰少貳石川足人の後任として727年頃に大宰府へ赴任してきたようです。この地で詠んだとされる歌「あをによし 奈良の都は 咲く花の 薫ふがごとく 吟盛りなり」は有名です。「梅花の宴」や香椎宮に参詣した際の歌なども残っていますが、735年に部下を南の島々に派遣し、行き交う船が遭難した場合に備えて道標を立てさせるなど役人としても活躍しました。

### おおもものたひと 大伴旅人

大伴旅人は、武門の家である大伴旅人の家系に属し、711年に征東軍の持節大伴旅人として活躍しています。その後、ある師として改めて大伴旅人を亡くす哀れみから、山上宿禰良との交友関係を通じて「梅花の宴」を開催する文化の中心人物として活躍しました。

### まんざいりまんせい 満誓 (? ~ ?)

### 大伴旅人・家持 略年譜



# 博多駅屋上



17:30 博多駅屋上



サクラタデ(桜蓼)  
タデ科



フジバカマ (藤袴)  
キク科



立花山(たちばなやま)367m



福岡空港に向かう飛行機



17:34 博多駅屋上から立花山(たちばなやま)367m方面

玄海島



博多タワー



志賀島(しかのしま)



17:35 博多駅屋上から志賀島(しかのしま)方面



若杉山681m  
↓

鬼岩山549m  
↓

砥石山826m  
↓

三郡山(さんぐんざん)936m  
↓

宝満山829m  
↓

↑  
仏頂山869m

17:35 博多駅屋上から三郡山地方

立花山（たちばなやま）367m

17:35  
博多駅屋上から

反省会  
 楽蔵  
 博多筑紫口店  
 18:00から



18:57



18:52



18:55

2020/10/01 20:03

樂藏博多筑紫口店



END